

決算補足説明資料

FY26 1Q

2026年05月15日

ノーリツ鋼機株式会社
証券コード：7744（東証プライム市場）

NORITSU

Contents

1. FY26 1Q連結業績
2. FY26 通期連結業績予想
3. トピック

将来見通しに係る記述についての注意事項

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

事業EBITDAについて

事業EBITDAは、営業利益を基に、営業取引から発生した為替差損益、その他の営業収益・費用を調整し、減価償却費及び償却費（使用権資産の減価償却費を除く）を加算し算出しております。連結財務諸表上に定義されていない指標であるものの、非経常的な損益や償却費に左右されない企業の本来の収益力を示すことから、連結財務諸表の利用者がノーリツ鋼機の業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

会計基準について

営業利益に関し、外貨建て現預金残高が多いために生じる為替評価の変動幅を低減し、事業の成果をより簡潔に把握できるようにするため、IFRS18号を早期適用しております。

本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て
比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入
当期利益：親会社の所有者に帰属する四半期/当期利益
FY〇〇：20〇〇年12月期

FY26 1Q連結業績

- 上半期予想に対して、高い進捗率で推移
- センクシアの新規連結に加え、事業成長と為替の円安効果により増収増益
- 部品・材料セグメントでは、テイボー及び浜松メタルワークスは増収増益
- 音響機器関連セグメントでは、AlphaThetaは増収増益、JLabは増収減益

FY26 通期連結業績予想

- 1Qは高い進捗率で推移するも、今後の不確実性を考慮して、期初予想を維持
- 半導体の受給ひっ迫に対しては、部品の先行調達及び設計変更で対応中
- 中東情勢に伴うリスク動向を注視しながら、適正価格への見直しを継続的に進める

Contents

1. **FY26 1Q連結業績**
2. **FY26 通期連結業績予想**
3. **トピック**

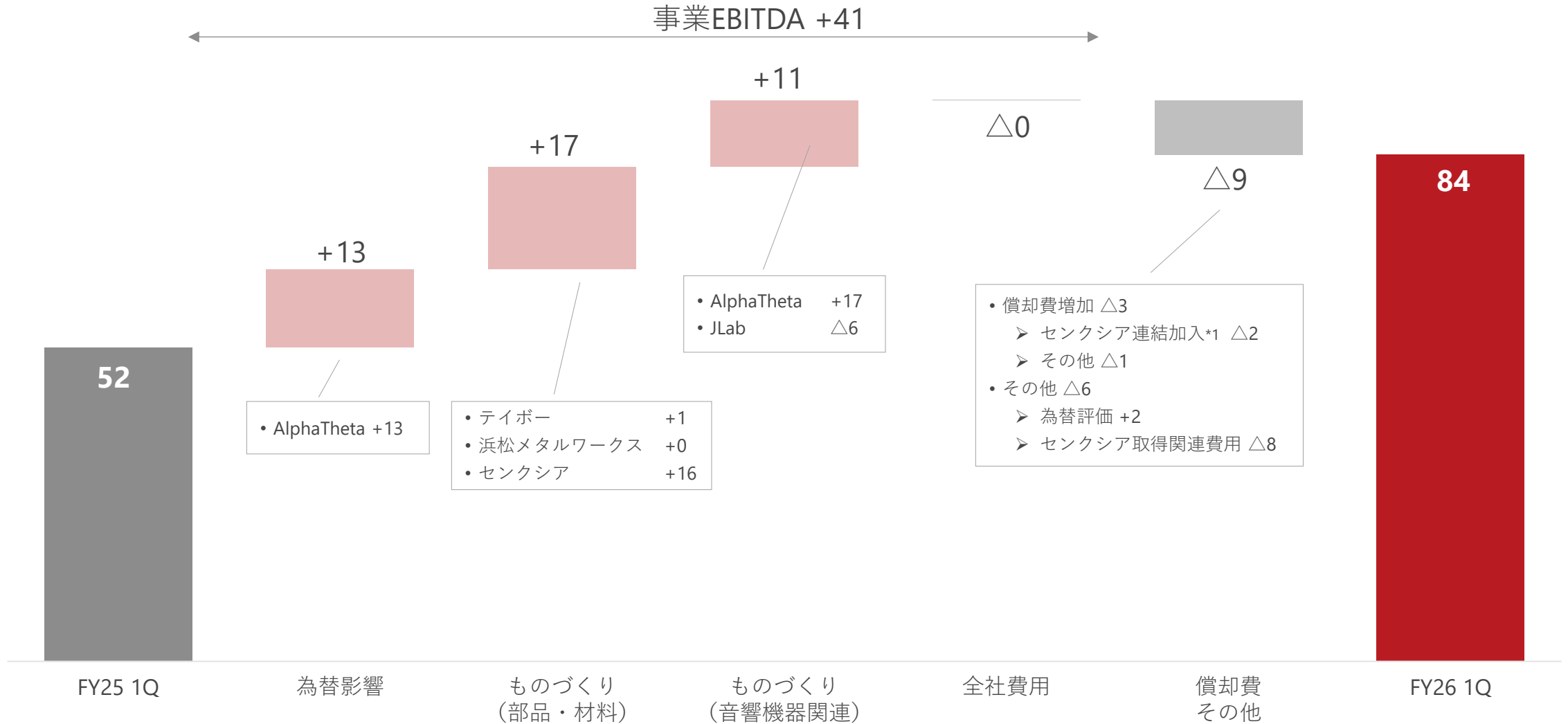
センクシアの新規連結*1に加え、事業成長と為替の円安効果により増収増益

単位：百万円	FY25 1Q	FY26 1Q	増減額	増減率
売上収益	27,200	40,319	+13,118	+48.2%
事業EBITDA	6,656	10,709	+4,052	+60.9%
営業利益	5,242	8,413	+3,171	+60.5%
営業利益率	19.3%	20.9%	+1.6pt	-
当期利益	2,814	5,645	+2,830	+100.6%
平均為替レート（円）				
米ドル	152.6	156.9	+4.3	
ユーロ	160.5	183.7	+23.2	

*1 2026年2月より連結開始

対前年同期

単位：億円



*1 PPA実施により認識する無形資産の償却費の概算を含む

- 部品・材料：テイボー及び浜松メタルワークスは増収増益
- 音響機器関連：AlphaThetaは増収増益、JLabは増収減益

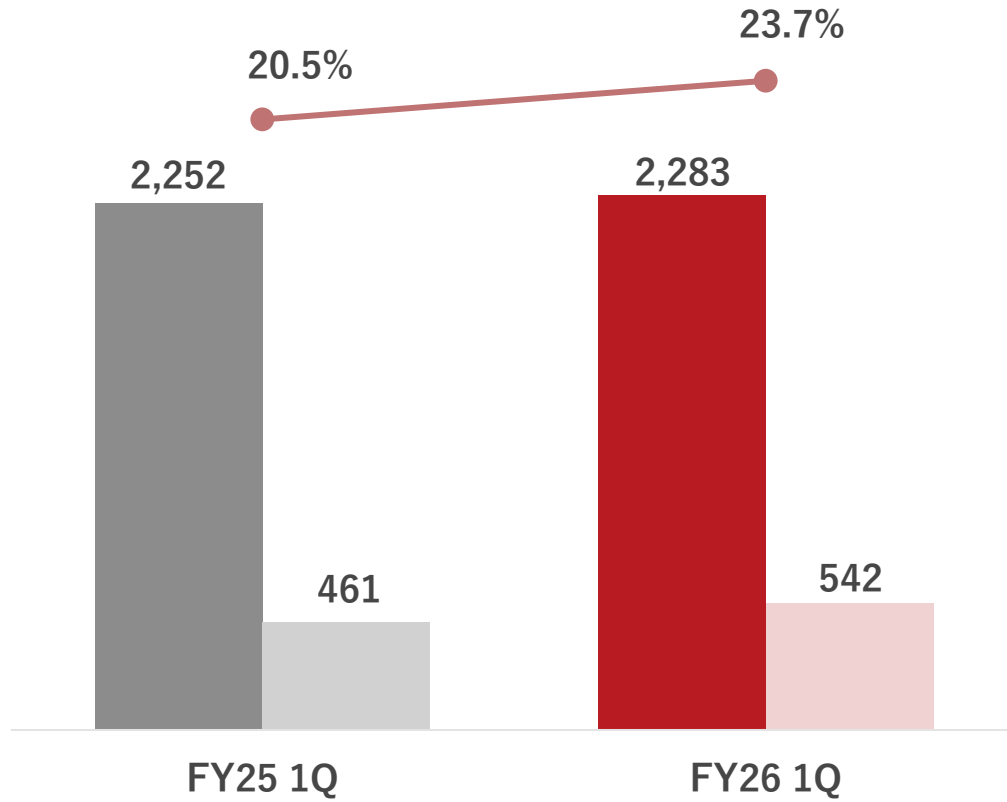
単位：百万円			FY25 1Q	FY26 1Q	増減額	増減率	増減率 為替影響除く
ものづくり (部品・材料)	テイボー	売上収益	2,252	2,283	+31	+1.4%	+0.2%
		事業EBITDA	461	542	+80	+17.4%	+16.0%
	浜松メタルワークス*1	売上収益	579	682	+103	+17.8%	+17.8%
		事業EBITDA	99	113	+13	+13.5%	+13.5%
	センクシア*2	売上収益	-	6,721	+6,721	-	-
		事業EBITDA	-	1,606	+1,606	-	-
小計	売上収益	2,831	9,687	+6,855	+242.1%	+241.2%	
事業EBITDA	561	2,262	+1,700	+302.8%	+301.7%		
ものづくり (音響機器関連)	AlphaTheta	売上収益	17,382	22,829	+5,447	+31.3%	+21.3%
		事業EBITDA	5,509	8,477	+2,968	+53.9%	+29.9%
	JLab	売上収益	6,986	7,802	+815	+11.7%	+8.6%
		事業EBITDA	899	325	△573	-63.8%	-64.8%
	小計	売上収益	24,369	30,632	+6,262	+25.7%	+17.6%
		事業EBITDA	6,408	8,803	+2,394	+37.4%	+16.6%
全社費用	事業EBITDA	△313	△356	△43	-	-	
連結合計	売上収益	27,200	40,319	+13,118	+48.2%	+40.9%	
	事業EBITDA	6,656	10,709	+4,052	+60.9%	+40.8%	

*1 FY25の浜松メタルワークス実績には、会社分割前のテイボーにおけるMIM事業数値を合算

*2 2026年2月より連結加入

■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン

単位：百万円



売上収益 +1.4% / 為替影響除く +0.2%

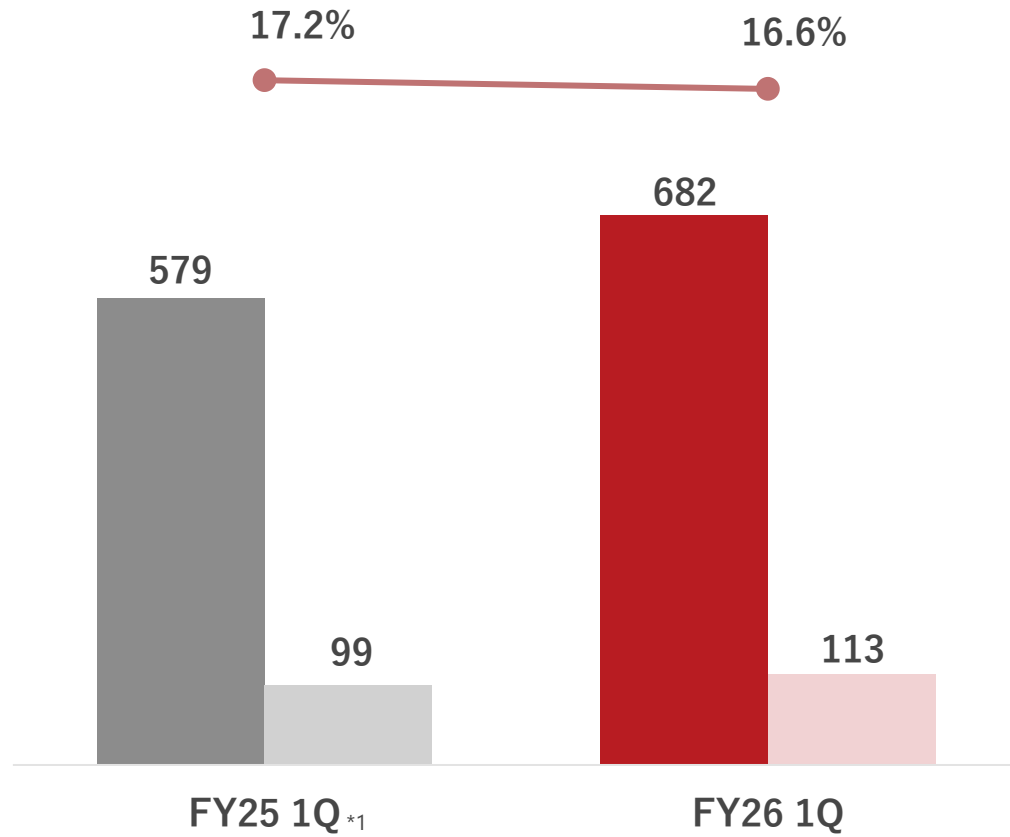
- 筆記分野は前年同期並みで着地
- コスメ分野は前年同期を上回り着地

事業EBITDA +17.4% / 為替影響除く +16.0%

- 増収に伴い、増益

■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン

単位：百万円



売上収益 +17.8%

- 顧客ごとの需要動向に濃淡があるものの、成長基調を維持

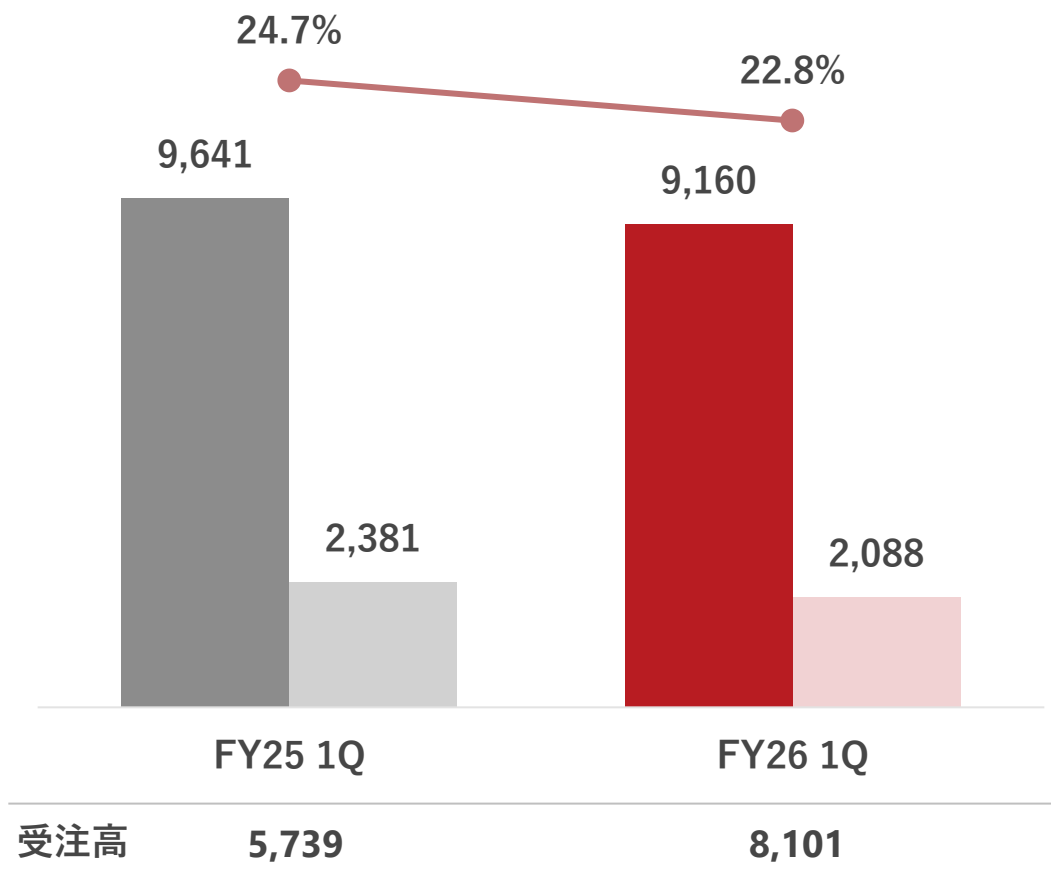
事業EBITDA +13.5%

- 増収に伴い、増益

*1 FY25の浜松メタルワークス実績には、会社分割前のテイボーにおけるMIM事業数値を合算

■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン

単位：百万円



売上収益 -5.0%

- ・ フリーアクセスフロアにおける前年同期に計上した大型クリーンルーム向け案件の反動減

事業EBITDA -12.3%

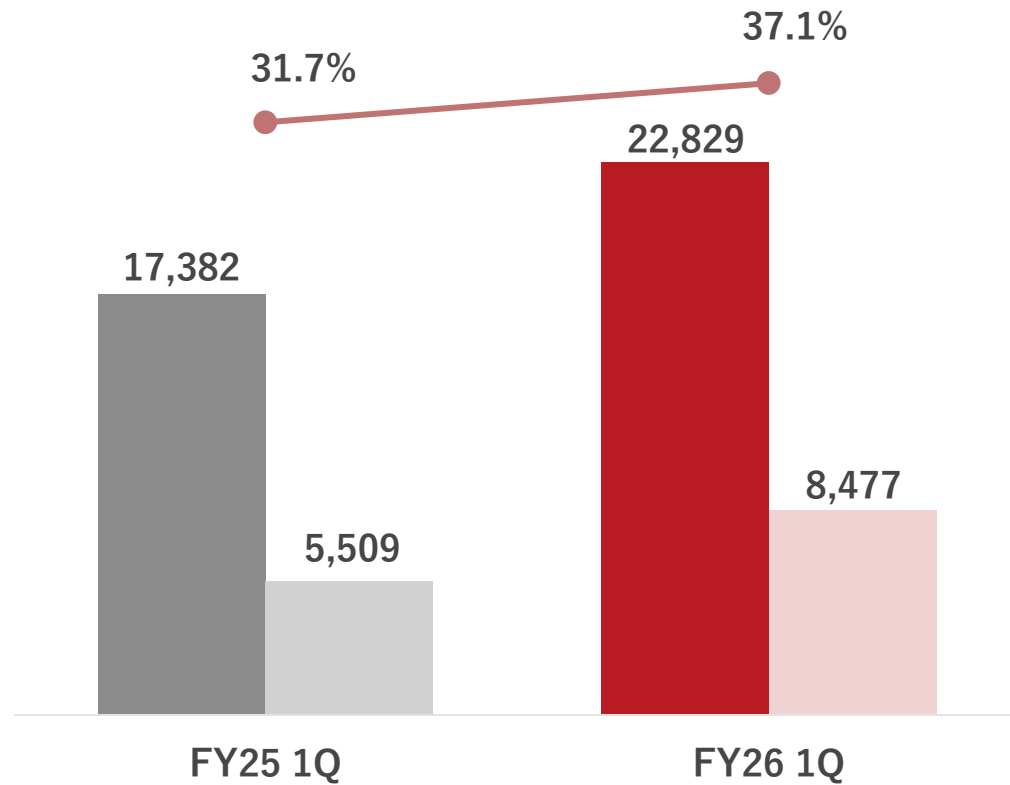
- ・ 減収に伴い、減益

受注高 +41.1%

- ・ フリーアクセスフロア及び免制震・耐震補強での案件獲得の増加

■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン

単位：百万円



売上収益 +31.3% / 為替影響除く +21.3%

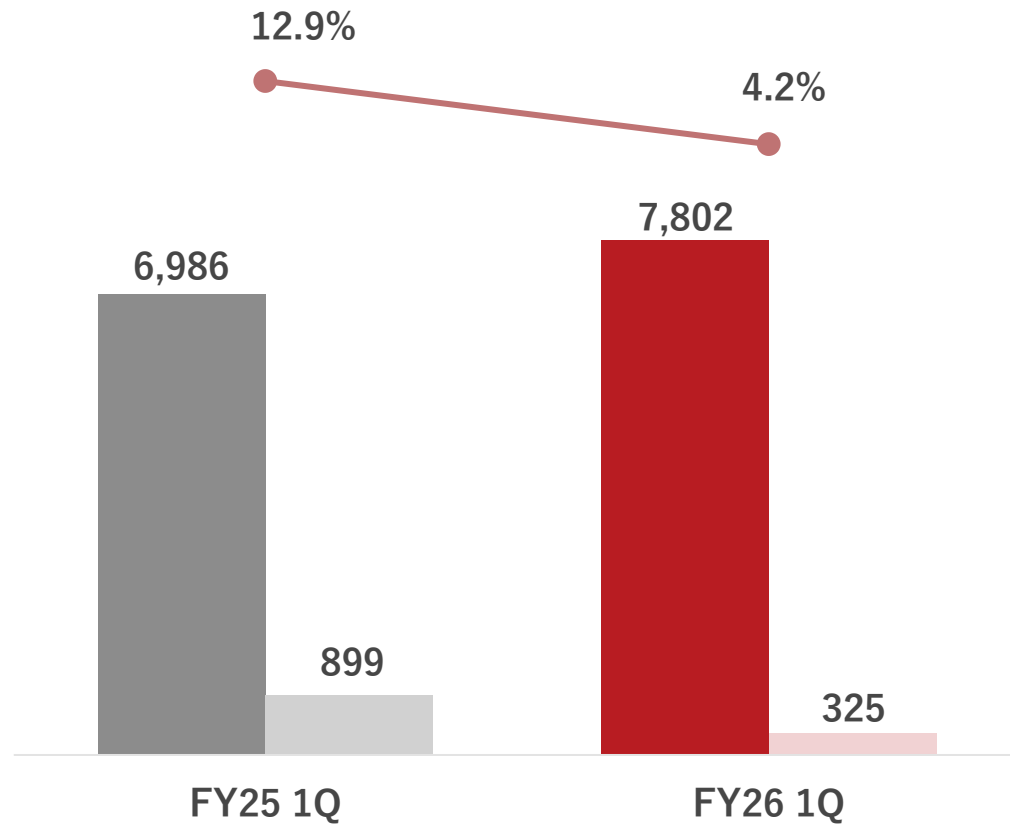
- プロ向け・エントリー向けともに堅調な需要を背景に増収基調を維持

事業EBITDA +53.9% / 為替影響除く +29.9%

- 米国関税の影響による粗利率低下はありつつも、増収及び為替の円安効果で補い増益

■ 売上収益 ■ 事業EBITDA ● 事業EBITDAマージン

単位：百万円



売上収益 +11.7% / 為替影響除く +8.6%

- 米国の市場停滞の中、手頃な価格帯のJLab製品は支持を集め、シェア拡大に寄与
- 米国外への展開も進展

事業EBITDA -63.8% / 為替影響除く -64.8%

- 米国関税の適用に伴う粗利率の一時的な低下や欧州大手代理店の破産申請に伴う損失（約4億円）の計上に加え、計画に基づくマーケティング投資により減益

単位：百万円	FY25	FY26 1Q	増減額		合計
			M&A* ₁	その他	
現金及び現金同等物	97,399	64,597	△29,811	△2,991	①△32,802
売上債権及びその他の債権	16,871	23,793	+4,470	+2,450	+6,921
棚卸資産	23,701	27,393	+2,200	+1,491	+3,691
のれん	50,333	114,921	+64,412	+175	②+64,588
無形資産	73,697	86,037	+11,587	+752	③+12,339
その他資産	39,794	46,945	+8,288	△1,136	+7,151
資産合計	301,798	363,688	+61,147	+742	+61,890
仕入債務及びその他の債務	8,132	16,235	+5,624	+2,478	+8,103
借入金	29,414	79,433	+50,000	+18	+50,018
その他負債	35,660	39,368	+5,522	△1,814	+3,708
負債合計	73,208	135,037	+61,147	+681	+61,829
資本合計	228,590	228,651	-	+60	+60

有利子負債	29,414	79,433	50,000	+18	+50,018
現金性資産	114,776	79,978	△29,810	△4,987	△34,797
Net Debt	△85,361	△ 545	79,810	5,005	+84,816

主な増減要因

①現金及び現金同等物 △328億円

- ・ 営業CF +36億円
- ・ 投資CF △800億円
 - － センクシア買収（株式取得＋既存借入返済） △800億円
- ・ 財務CF +430億円
 - － センクシア買収用ブリッジローン +500億円
- ・ 為替評価による換算差額 +5億円

②のれん +645億円

- ・ センクシア買収に伴う暫定計上額 +644億円*₂

③無形資産 +123億円

- ・ センクシア買収に伴う暫定計上額 +116億円*₂

*1 取得日時点のセンクシアの新規連結及び株式取得と既存借入返済の影響

*2 FY27 1QまでにPPAを実施し確定する予定

Contents

1. FY26 1Q連結業績
2. **FY26 通期連結業績予想**
3. トピック

主なリスクとして以下を認識

	テイ ポー	浜松メ タル	センク シア	Alpha Theta	JLab	備考
中東 情勢	✓	✓	✓	✓	✓	<ul style="list-style-type: none"> 原材料価格及び物流費高騰のリスクあり 浜松メタルワークスにおいては樹脂材料の調達リスクがあるも、当上半期までを確保済み。引き続きサプライヤーと連携し、市場環境の変化に備える
半導 体調 達	—	—	—	✓	—	<ul style="list-style-type: none"> AlphaThetaにおいて、半導体の受給ひっ迫に対応する必要あり 2027年度上半期製造分までの半導体を確保できる見込み、同年下半期から設計変更での対応を計画 価格高騰については、適正な価格転嫁を基本方針とし、原価低減に向けた取り組みも行う
米国 関税 政策	—	—	—	✓	✓	<ul style="list-style-type: none"> AlphaThetaは前期に関税増加分の価格転嫁を実施 JLabは現時点で価格転嫁は未実施 関税の還付手続きを進行する計画

1Qの進捗率は高く推移するも、今後の不確実性を考慮して期初予想を維持

単位：百万円	FY25	FY26予想	増減額	増減率
売上収益	119,223	167,600	+48,376	+40.6%
事業EBITDA	25,726	35,500	+9,773	+38.0%
営業利益	20,815	26,000	+5,184	+24.9%
営業利益率	17.5%	15.5%	△1.9pt	-
当期利益	15,639	16,800	+1,161	+7.4%
平均為替レート（円）				
米ドル	149.7	150.0	+0.3	
ユーロ	169.0	178.0	+9.0	

1Qの進捗率は高く推移するも、今後の不確実性を考慮して期初予想を維持

単位：百万円			FY25	FY26 予想	増減額	増減率	増減率 為替影響除く
ものづくり (部品・材料)	テイボー	売上収益	9,145	9,500	+354	+3.9%	+4.9%
		事業EBITDA	2,430	2,500	+69	+2.8%	+4.9%
	浜松メタルワークス *1	売上収益	2,599	2,800	+200	+7.7%	+7.7%
		事業EBITDA	347	400	+52	+15.0%	+15.0%
	センクシア *2	売上収益	-	34,600	+34,600	-	-
		事業EBITDA	-	7,800	+7,800	-	-
小計	売上収益	11,744	46,900	+35,155	+299.3%	+300.1%	
	事業EBITDA	2,778	10,700	+7,921	+285.1%	+286.9%	
ものづくり (音響機器関連)	AlphaTheta	売上収益	69,879	76,700	+6,820	+9.8%	+6.8%
		事業EBITDA	19,203	21,000	+1,796	+9.4%	+0.8%
	JLab	売上収益	37,599	44,000	+6,400	+17.0%	+16.8%
		事業EBITDA	4,963	5,400	+436	+8.8%	+8.6%
	小計	売上収益	107,478	120,700	+13,221	+12.3%	+10.3%
		事業EBITDA	24,166	26,400	+2,233	+9.2%	+2.4%
全社費用	事業EBITDA	△1,218	△1,600	△381	-	-	
連結合計	売上収益	119,223	167,600	+48,376	+40.6%	+38.9%	
	事業EBITDA	25,726	35,500	+9,773	+38.0%	+31.8%	

*1 FY25の浜松メタルワークス実績には、会社分割前のテイボーにおけるMIM事業数値を合算

*2 2026年2月より連結加入

Contents

1. FY26 1Q連結業績
2. FY26 通期連結業績予想
3. トピック

AlphaTheta

- DJ機器の生産・品質管理体制強化に向けベトナムに初の自社工場を開設

ベトナム・ドンナイ省ロンデュック工業団地内に新たな生産拠点「AlphaTheta Technology Vietnam Co.,LTD」を開設しました。本工場は、2026年1月12日より稼働を開始しています。本工場も含め生産能力と品質を一層向上させ、世界市場で支持されるものづくりを追求していきます。

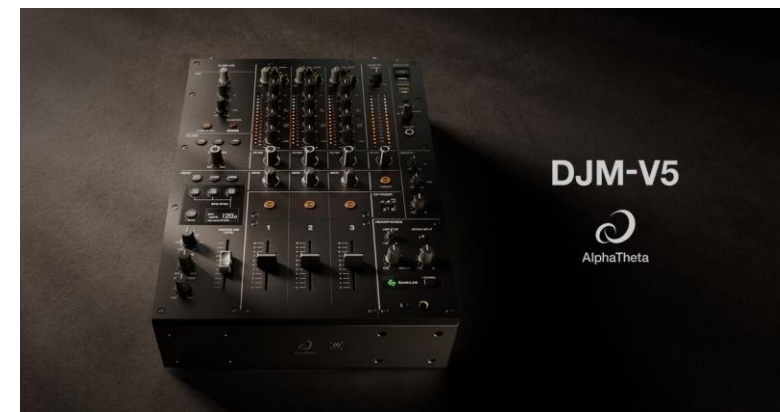


AlphaTheta

- 10年以上を経て大幅刷新したDJエフェクター「RMX-IGNITE」をリリース



- 次世代3ch DJミキサー「DJM-V5」をリリース
緻密な音づくりとワイヤレスモニタリングをコンパクトな筐体に凝縮



JLab

- ・ ガーナサッカー協会（GFA）の公式オーディオパートナーに就任

成長著しいアフリカ市場におけるブランドプレゼンスの確立と、グローバルな顧客層へのリーチを目的としています。世界的な注目が集まるFIFAワールドカップ2026を視野に、ナショナルチームへの製品提供を通じて、アスリートのパフォーマンスを支えるJLabの技術力と信頼性を実証していきます。スポーツと音楽の親和性を生かしてブランドのファン層を構築し、中長期的な企業価値の向上とグローバルシェアの拡大を加速していきます。

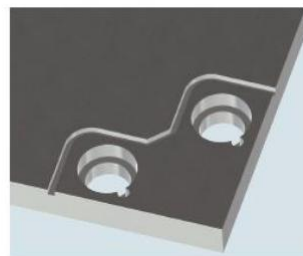
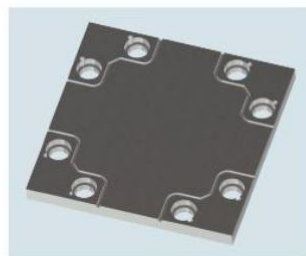


センクシア

- 性能・設計自由度・施工性を高めた
「ハイベースNEO-R工法」を発表

「ハイベース工法」は、半世紀を超える実績を有する露出型柱脚工法として、これまで多くの建築物に採用されてきました。

「ハイベース NEO-R 工法」は、多様化する建築計画や構造条件への対応を目的に、従来の仕様を改良し、構造性能、設計自由度、施工性の向上を図った改良工法です。



エコタイプベースプレート底面新形状
※EBX、EMX 型式

センクシア / テイボー / 浜松メタルワークス

- 健康経営優良法人2026にそれぞれ認定

センクシアは、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する健康経営優良法人認定制度において「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」に認定されました。（4年連続4回目）

また、テイボー、浜松メタルワークスも「健康経営優良法人2026（中小規模法人部門）」に認定されました。





Appendix

単位：百万円	FY26上半期予想	FY26 1Q	進捗率
売上収益	78,400	40,319	+51.4%
事業EBITDA	17,100	10,709	+62.6%
営業利益	12,100	8,413	+69.5%
営業利益率	15.4%	20.9%	-
当期利益	7,800	5,645	+72.4%
平均為替レート（円）			
米ドル	150.0	156.9	
ユーロ	178.0	183.7	

単位：百万円			FY26 上半期予想	FY26 1Q	進捗率
ものづくり (部品・材料)	テイボー	売上収益	4,500	2,283	+50.7%
		事業EBITDA	1,100	542	+49.3%
	浜松メタルワークス*1	売上収益	1,300	682	+52.5%
		事業EBITDA	200	113	+56.5%
	センクシア*2	売上収益	16,000	6,721	+42.0%
		事業EBITDA	3,500	1,606	+45.9%
	小計	売上収益	21,800	9,687	+44.4%
		事業EBITDA	4,800	2,262	+47.1%
ものづくり (音響機器関連)	AlphaTheta	売上収益	37,700	22,829	+60.6%
		事業EBITDA	11,100	8,477	+76.4%
	JLab	売上収益	18,900	7,802	+41.3%
		事業EBITDA	2,000	325	+16.3%
	小計	売上収益	56,600	30,632	+54.1%
		事業EBITDA	13,100	8,803	+67.2%
全社費用	事業EBITDA	△800	△356	-	
連結合計	売上収益	78,400	40,319	51.4%	
	事業EBITDA	17,100	10,709	+62.6%	

*1 FY25の浜松メタルワークス実績には、会社分割前のテイボーにおけるMIM事業数値を合算

*2 2026年2月より連結加入

為替影響の概要		FY25地域別売上収益構成比					
		日本	中国	APAC	EMEA	北米・中南米	
ものづくり (部品・材料)	テイボー	<ul style="list-style-type: none"> グローバルで販売及び仕入ともに円貨取引が基本のため対米ドル、対ユーロともに影響は僅少 	26.6%	23.3%	15.7%	13.1%	21.3%
	浜松メタルワークス	<ul style="list-style-type: none"> 国内での取引が大きいため、対米ドル、対ユーロともに影響は僅少 	99.3%	0%	0%	0.7%	0%
	センクシア	<ul style="list-style-type: none"> 国内での取引が大きいため、対米ドル、対ユーロともに影響は僅少 	100%	0%	0%	0%	0%
ものづくり (音響機器関連)	AlphaTheta	<ul style="list-style-type: none"> 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル EMEAの売上収益が大きいため、対ユーロで円安は利益プラス 北米を中心とする米ドルでの売上収益が仕入と相殺されるため、対米ドルの影響は軽微 	7.1%	3.7%	7.9%	49.4%	32.0%
	JLab	<ul style="list-style-type: none"> 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル 米国の売上収益が大きいため、対米ドルで円安は利益プラス 米国以外は売上収益がまだ小さいため影響は軽微 	0.3%	0.1%	2.2%	15.8%	81.6%

*1 APACは、アジア、オーストラリア（日本、中国を除く）

*2 EMEAは、ヨーロッパ、中東、アフリカ

※2026年2月13日更新

為替レート（平均）の1円円安による影響額

通貨	FY26予想 為替前提	売上収益	事業EBITDA/営業利益
米ドル	150.0円	+5.2億円	+0.4億円
ユーロ	178.0円	+2.1億円	+1.7億円

単位：億円			FY25 1Q	増収/減収	粗利率	販管費	為替影響	FY26 1Q	
ものづくり (部品・材料)	テイボー	事業EBITDA	4.6	+0.2	+1.5	△0.8	△0.1	5.4	
		マージン	20.5%	-	+6.5pt	△2.9pt	△0.4pt	23.7%	
	浜松メタル ワークス*1	事業EBITDA	1	+0.3	△0.5	+0.3	-	1.1	
		マージン	17.2%	-	△6.6pt	+6.0pt	-	16.6%	
	センクシア	事業EBITDA							16
		マージン							23.9%
ものづくり (音響機器関連)	AlphaTheta	事業EBITDA	55	+22	△4	△1	+13	85	
		マージン	31.7%	-	△2.1pt	+4.3pt	+3.2pt	37.1%	
	JLab	事業EBITDA	9	+3	△2	△7	+0	3	
		マージン	12.9%	-	△2.4pt	△6.3pt	+0pt	4.2%	

*1 FY25の浜松メタルワークス実績には、会社分割前のテイボーにおけるMIM事業数値を合算

単位：億円

FY25 1Q	28	
営業利益	+32	
投資区分	+12	・ 為替差損益 +11 (FY25 1Q △9 / FY26 1Q +2)
財務区分	△2	・ 利息増加
法人所得税費用	△14	・ 増益による税金増加
非継続事業からの損益	0	
FY26 1Q	56	

		FY24 1Q	2Q	3Q	4Q	FY25 1Q	2Q	3Q	4Q	FY26 1Q	2Q	3Q	4Q
テイボー													
売上収益	百万円	2,713	3,130	2,975	3,155	2,252	2,219	2,289	2,384	2,283			
事業EBITDA	百万円					462	628	616	725	542			
事業EBITDAマージン	%					20.5%	28.3%	26.9%	30.4%	23.7%			
事業別売上高													
筆記	百万円	1,778	2,033	1,820	1,934	1,794	1,777	1,776	1,847	1,783			
コスメ	百万円	253	354	321	319	283	306	354	363	361			
その他	百万円	150	140	169	193	174	134	158	172	138			
浜松メタルワークス*1													
売上収益	百万円	579	648	646	725	579	648	647	726	682			
事業EBITDA	百万円					99	123	83	42	113			
事業EBITDAマージン	%					17.2%	19.0%	12.8%	5.8%	16.6%			

*1 FY25の浜松メタルワークス実績には、会社分割前のテイボーにおけるMIM事業数値を合算

		FY24 1Q	2Q	3Q	4Q	FY25 1Q	2Q	3Q	4Q	FY26 1Q	2Q	3Q	4Q
売上収益	百万円	9,088	8,849	8,269	8,655	9,641	8,389	8,744	8,047	9,160			
事業EBITDA	百万円	2,279	2,295	2,036	1,903	2,381	1,872	1,875	1,653	2,088			
事業EBITDAマージン	%	25.1%	25.9%	24.6%	22.0%	24.7%	22.3%	21.4%	20.5%	22.8%			
受注高	百万円	5,224	7,945	8,536	10,457	5,739	8,858	8,608	9,641	8,101			

		FY24 1Q	2Q	3Q	4Q	FY25 1Q	2Q	3Q	4Q	FY26 1Q	2Q	3Q	4Q
売上収益	百万円	18,934	14,326	15,513	13,814	17,382	16,914	17,947	17,633	22,829			
事業EBITDA	百万円	6,707	3,986	5,053	1,883	5,509	4,765	5,592	3,335	8,477			
事業EBITDAマージン	%	35.4%	27.8%	32.6%	13.6%	31.7%	28.2%	31.2%	18.9%	37.1%			
地域別売上高													
日本	百万円	870	1,000	1,022	1,200	1,057	1,109	1,404	1,359	1,408			
中国	百万円	714	690	540	519	570	678	591	738	630			
APAC	百万円	1,031	1,341	1,159	1,551	1,153	1,140	1,329	1,882	1,731			
EMEA	百万円	10,397	6,129	7,852	5,907	8,568	8,653	8,408	8,900	11,591			
北米・中南米	百万円	5,921	5,164	4,937	4,635	6,032	5,334	6,214	4,752	7,466			
DJ機器出荷台数	千台	180	155	177	164	187	185	205	210	253			
DJ向けアプリケーションMAU	万人	82	85	86	92	94	101	105	110	110			

		FY24 1Q	2Q	3Q	4Q	FY25 1Q	2Q	3Q	4Q	FY26 1Q	2Q	3Q	4Q
売上収益	百万円	5,274	8,384	7,184	11,132	6,986	8,828	9,557	12,226	7,802			
事業EBITDA	百万円	728	1,573	471	1,620	899	1,659	1,542	862	325			
事業EBITDAマージン	%	13.8%	18.8%	6.6%	14.6%	12.9%	18.8%	16.1%	7.1%	4.2%			
地域別売上高													
日本	百万円	16	17	20	14	19	21	34	35	32			
中国	百万円	—	29	15	18	15	9	6	13	0			
APAC	百万円	31	127	175	245	160	71	354	241	113			
EMEA	百万円	884	1,049	1,600	1,746	985	1,369	1,756	1,821	1,188			
北米・中南米	百万円	4,340	7,160	5,372	9,107	5,806	7,356	7,406	10,114	6,467			
北米・中南米比率	%	82%	85%	75%	82%	83%	83%	77%	83%	83%			

社名 ノーリツ鋼機株式会社（プライム市場：7744）

代表者 代表取締役CEO 岩切 隆吉

創業 1951(昭和26)年6月

設立 1956(昭和31)年6月

資本金 7,685,848,200円

本社 東京都港区麻布十番1-10-10 ジュールA 5階

取締役 岩切 隆吉

取締役 太田 晶久
(監査等委員)

横張 亮輔

高田 剛

村瀬 和絵

町野 静

部品・材料

先端及び極小部材の製造事業

テイボー株式会社

会社名 テイボー株式会社
代表者 代表取締役社長 河内清志
資本金 5,000万円
主要株主 テイボーホールディングス株式会社
事業内容 筆記分野ペン先部品（フェルト、合成繊維、プラスチック）、非筆記分野、先端部材、コスメ用ペン先部材（合繊芯、プラスチック芯、ポリブチレンテレフタレート樹脂（PBT） プラシなど）等の製造・販売

■グループ会社

泰宝制筆材料(常熟)有限公司（テイボー100%子会社）
 ・マーキングペン先部品の中国における製造・販売拠点

株式会社 soliton corporation（テイボー100%子会社）
 ・コスメ用ペン先部材の製造・販売

MIM製品の製造事業

浜松メタルワークス株式会社

会社名 浜松メタルワークス株式会社
代表者 代表取締役社長 向秀和
資本金 5,000万円
主要株主 テイボーホールディングス株式会社
事業内容 MIM製造部品の製造・販売及び研究開発

* テイボーホールディングス株式会社はノーリツ鋼機の100%子会社です

部品・材料

建材機器、製造・販売及び関連工事事業

センクシア株式会社

会社名 センクシア株式会社
代表者 代表取締役 林 雄一
資本金 5億円
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 建材機器の製造・販売及びそれらの関連工事

■グループ会社

株式会社免制震デバイス

- ・免震・制震(制振)装置の設計、製作、施工支援、維持管理業務
- ・免震・制震(制振)構造の計画、設計業務
- ・免震・制震(制振)構造の総合的企画業務

音響機器関連

音響、音楽制作機器の商品開発事業

AlphaTheta株式会社

会社名 AlphaTheta株式会社
 （旧Pioneer DJ株式会社）
代表者 代表取締役社長 片岡芳徳
資本金 1億円
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 DJ/CLUB機器、業務用音響機器、音楽制作機器の商品開発・設計・及び販売、ならびにそれらのサービスに関する事業

■グループ会社

AlphaTheta EMEA Limited
AlphaTheta Music Americas, Inc.
AlphaTheta (Shanghai) CO., Ltd.
AlphaTheta SG Pte. Ltd.
AlphaTheta Technology Vietnam Co.,LTD

音響機器関連

パーソナルオーディオデバイス製品事業

PEAG, LLC dba JLab

会社名 PEAG, LLC dba JLab
代表者 Win Cramer , CEO
資本金 19M USD
主要株主 ノーリツ鋼機株式会社
事業内容 パーソナルオーディオデバイス及びテクノロジー製品の設計及び販売

NORITSU

本資料に記載されているいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。
また、当社は当資料の内容に関し、いかなる保証をするものでもありません。

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、
これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。
実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、
いかなる確約や保証を行うものではありません。